

協和医科器械株式会社 一般事業主行動計画

1. 計画期間

令和3年4月1日～令和6年3月31日までの3年間

2. 当社の抱える課題

- (1) 男女ともに「仕事と家庭（家事・育児・介護）」の多面的な役割を人生において期待される現代では、仕事の負担を減らし家庭での役割に充てる時間を増やしていく必要がある。その意味では社内の業務効率化や環境整備が進み、有給休暇取得が促進されてきたため、この動きを継続推進し、特に営業の労働環境を更に改善するとともに、今後予想される私生活と仕事の両立に関する様々な支援ニーズに応え、男女とも優秀な社員に長期的に働いてもらうため、多様な働き方を模索する必要がある。
- (2) また多様な働き方を進めるうえで、社員一人ひとりが自身のキャリアについて考え、様々な社員と連携して仕事をしていくうえでの「自主性」などが求められる。そのため、キャリアに関する社内啓蒙を実施し、多様な働き方に対応するための社内制度の検討もしていく必要がある。

3. 目標と取組内容

【目標1】

当行動計画期間中の年度毎（4月から翌年3月まで）において、全ての雇用管理区分における平均残業時間数を30時間以下にする。

<対 策>

- 現在行われている業務効率化に関するプロジェクト等の継続実施。
- 時間外労働に関する社内周知資料の作成と配信などによる、更なる業務効率化への意識醸成。

【目標2】

令和6年3月末までに、年度毎（4月から翌年3月まで）の全社の有給休暇取得日数平均を10日以上とする。

<対 策>

- 有給休暇取得計画表作成、有給休暇取得実績の部拠点長への定期配信による部署内取得状況の確認と取得促進。
- 記念日休暇など会社独自の有給休暇取得機会の設定をはじめとした、更なる有給休暇取得促進のための対策検討と実施。

【目標3】

期間中に1回以上、多様な働き方に対応するためのキャリア形成を促す機会の提供を目指す。
また、そのために必要な社内制度があれば検討を行う。

<対 策>

- 社内アンケートなどの実施による、キャリア形成に関する効果的な研修等の検討と実施及びPDCAによる継続的な研修内容の改善。
- 社内が必要と判断された制度等があれば、その検討を行う。

(別表) 女性の活躍に関する情報公表

①女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供

【労働者に占める女性労働者の割合】

職種	男性	女性
営業	94.3%	5.7%
事務	24.0%	76.0%
配送	70.8%	29.2%
契約社員	20.8%	79.2%
パート社員	13.4%	86.6%
全体	54.0%	46.0%

(2020年6月末時点)

②職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備

【有給休暇取得率】 56.0% (2019年4月～2020年3月)